

酸素ボンベにこれをつけて町を歩いている人もみえます。これは在宅酸素吸入療法というもので、ご自宅に酸素濃縮機という機械を設置したり、液体酸素のタンクを設置して、外出は酸素ボンベなどを使って行っています。腎臓の慢性透析と同じで肺が慢性的に悪くなって自宅でも酸素吸入が必要になった人がする治療です。さらに重症になると酸素マスクといって鼻と口をおおうビニールのマスクで吸入します。病院に入院するときなどに主に使われます。入院したときに使われたことがある方もみえるでしょう。



酸素マスク

人工呼吸

呼吸は酸素をとり入れ、二酸化炭素を体外にだすことですので、酸素吸入だけでは片手おちです。二酸化炭素を外に出すことができなくなっている場合は人工呼吸といって呼吸を補助して換気を増やす必要があります。人工呼吸には人が行うものと機械が行うものがあります。水泳でおぼれて水を吸い込んで息が止まってしまった人に口をつけて空気を送り込むのが、人が行う人工呼吸です。病院に着けば機械による人工呼吸に切り替えるのが普通です。慢性の病気の場合は、はじめから機械による人工呼吸を行います。これにはマスクによるものと管を入れて行うものがあります。マスク式の人工呼吸は睡眠時無呼吸のような肺以外の病気にも行われます。肺が悪い人で二酸化炭素がたまる場合は自宅でマスク式人工呼吸を行うことが多くなっています。管式の人工呼吸は、さらに重症の場合に行います。病院で行うことが多く、口から管を肺の入り口まで入れて行うことが多く、非常に苦しい治療ですので鎮静剤を使って行うことが多いです。



以上、呼吸と酸素および二酸化炭素、さらに呼吸が十分にできなくなったときの治療について簡単にお話しさせていただきました。